



# 最近の県内経済情勢

令和7年1月30日

財務省関東財務局

前橋財務事務所

問い合わせ先  
前橋財務事務所 財務課  
電話 027-896-2908(直通)

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回(6年10月判断)	今回(7年1月判断)	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	→

(注)7年1月判断は、前回6年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### (判断の要点)

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、足踏みの状況にある。

#### 【各項目の判断】

項目	前回(6年10月判断)	今回(7年1月判断)	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しつつある	→
雇用情勢	足踏みの状況にある	足踏みの状況にある	→
設備投資	6年度は増加見込みとなっている	6年度は増加見込みとなっている	→
企業収益	6年度は増益見込みとなっている	6年度は減益見込みとなっている	↘
企業の景況感	「下降」超幅が拡大している	「上昇」超に転じている	↗
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	→
公共事業	前年を上回っている	前年を下回っている	↘

#### 【先行き】

先行きについては、各種政策の効果もあって、景気の持ち直しが続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、アメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額、家電大型専門店販売額は前年を上回っている。また、宿泊・観光は持ち直している。

しかしながら、ホームセンター販売額、乗用車の新車登録届出台数は前年を下回っている。全体としては、緩やかに回復しつつある。

## (主なヒアリング結果)

- 残暑の影響から秋物衣料や、年末年始のセールを見据えた冬物衣料品の買い控えで苦戦したものの、初売りは前年を上回る売上げを記録。(百貨店・スーパー)
- 10月は値上げ商品が多く買い控えの動きがみられたが、11月以降は食料品のフェア実施や気温低下による衣料品需要の増加により売上げは伸びている。(百貨店・スーパー)
- 11月に入り気温が低下してきたことから、エアコンやヒーターなどの季節家電、インフルエンザ等の流行などから空気清浄機や加湿器の販売が好調であった。(家電量販店)
- ひょう被害による買い替え需要が発生した前年の反動もあり販売台数は減少。今後は新型車投入による販売台数の増加を見込んでいる。(自動車販売)
- 宿泊客数は前年を上回って推移しており、好調を維持している。年末年始の予約状況も順調。(業界団体)

## ■ 生産活動 「持ち直しつつある」

生産活動は、業種別にみると、輸送機械、食料品、化学、汎用機械・生産用機械・業務用機械いずれも増加しており、全体としては、持ち直しつつある。

- 8月の連休中に大型工事を行った影響で前期の稼働日数が減少したことや、足下では北米での販売が堅調なことから、生産数量は増加している。先行きは、メイン市場である米国景気の動向について注視。(輸送機械)
- 主要な取引先における国内の自動車販売や北米でSUVなどの受注が好調なことから足下で生産量は増加している。(輸送機械)
- 自然災害による備蓄ニーズや、コメ不足・値上がりを受けての代替ニーズなども重なり、10-12月期は増産体制で臨んでいる。一方、生活防衛意識の高まりが落ち着く要因が見当たらず、経営環境は予断を許さない状況が続くことを予想。(食料品)
- 半導体向け製品は堅調に推移しているほか、スマートフォンなどのディスプレイ向けの製品も好調。今後も半導体関連の需要と生産の上振れを見込んでいるものの、原油等の原材料価格の変動をリスクとして認識。(化学)
- 今期は新製品の投入が多く、生産数量は前期比で増加している。(業務用機械)

## ■ 雇用情勢 「足踏みの状況にある」

新規求人数は減少しており、有効求人倍率は横ばいとなっている。雇用情勢は足踏みの状況にある。

- 非正規社員に対しては、最低賃金から数十円を上乗せした水準としているほか、身だしなみ基準の緩和を実施し、採用数の増加につなげている。(小売業)
- 生産量の増加に伴い生産現場の一部で人手が不足しており、残業や休日出勤で対応。繁忙期は他部門から応援を出して業務負担の平準化を図っている。(製造業)
- 企業等の人手不足は続いているものの、10月の最低賃金改定による賃上げの影響から、求人数を絞る動きがみられる。(行政機関)

## ■ 設備投資 「6年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 製造業では前年比34.3%の増加見込み、非製造業では同0.7%の増加見込みとなっており、全規模・全産業では同13.3%の増加見込みとなっている。

## ■ 企業収益 「6年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 製造業では前年比26.3%の減益見込み、非製造業では同4.4%の増益見込みとなっており、全規模では同7.7%の減益見込みとなっている。

## ■ 企業の景況感 「『上昇』超に転じている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 先行きについては、7年1~3月期に「下降」超に転じ、7年4~6月期に再び「上昇」超に転じる見通しとなっている。

## ■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数でみると、持家、分譲、貸家いずれも前年を上回っており、全体でも前年を上回っている。

## ■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額でみると、国、県、市町村のいずれも前年を下回っており、全体でも前年を下回っている。



# 最近の県内経済情勢

## (資料編)

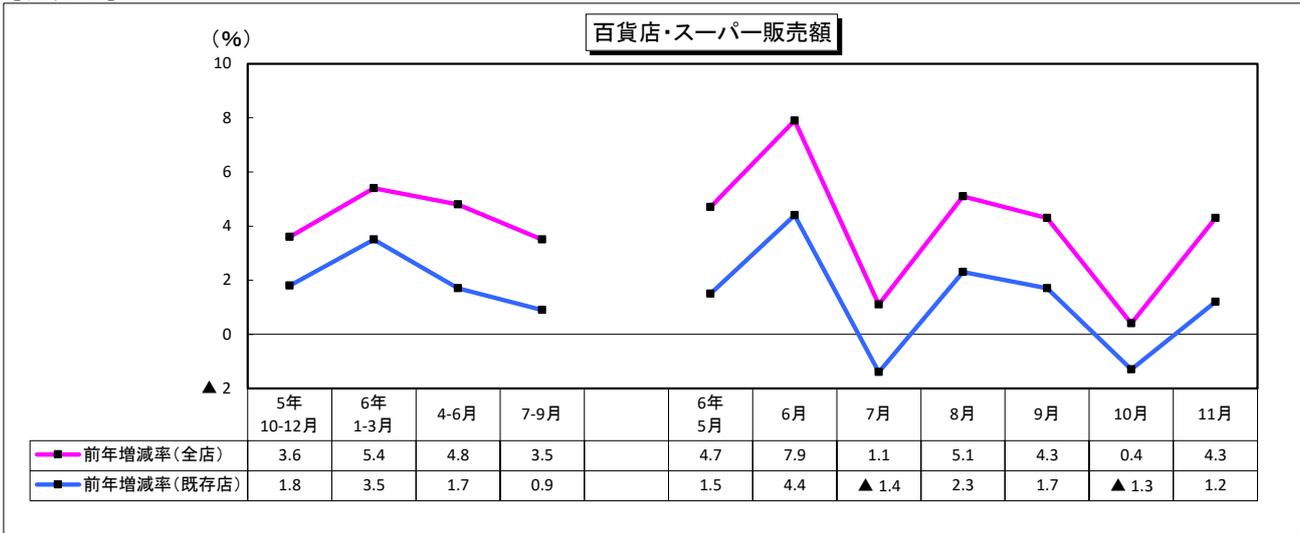
令和7年1月30日

財務省関東財務局  
前橋財務事務所

1. 個人消費

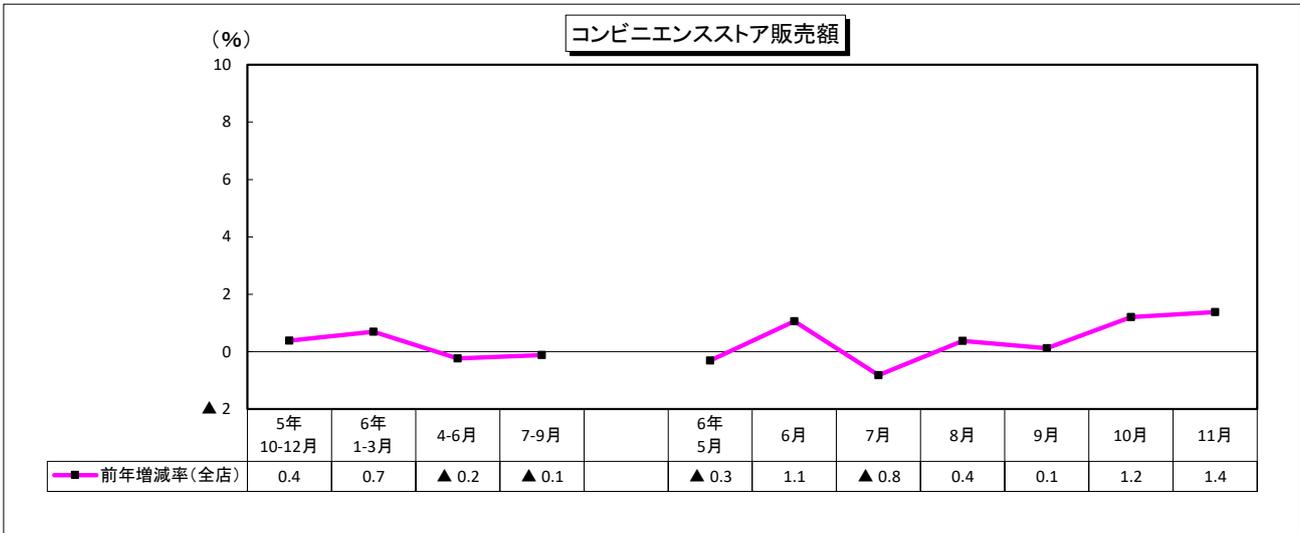
緩やかに回復しつつある

[グラフ1]



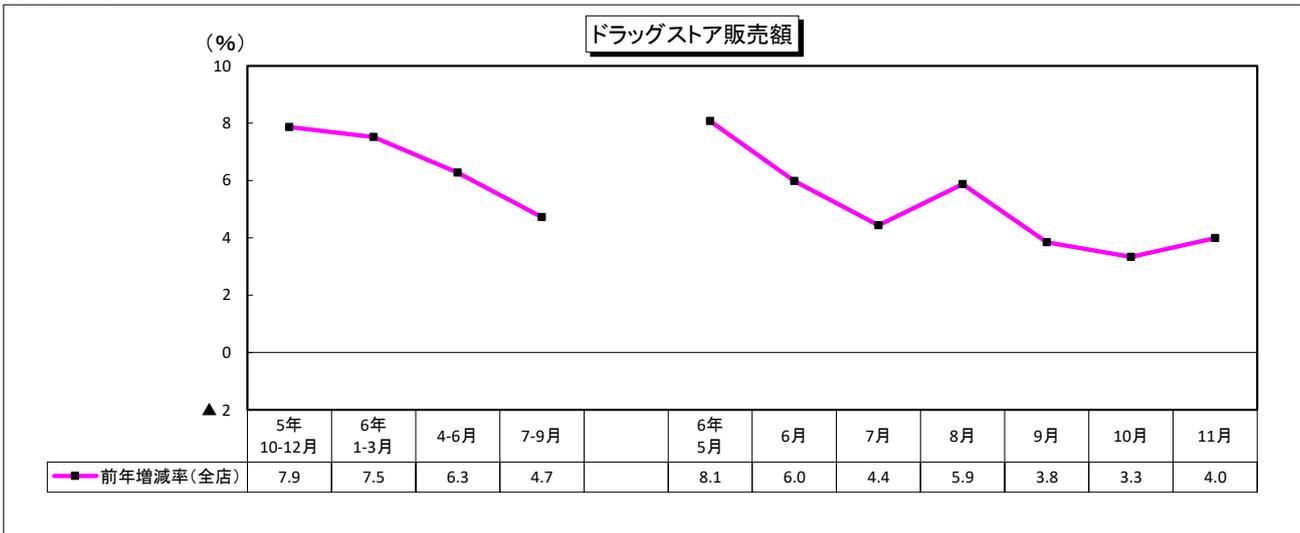
[経済産業省]

[グラフ2]



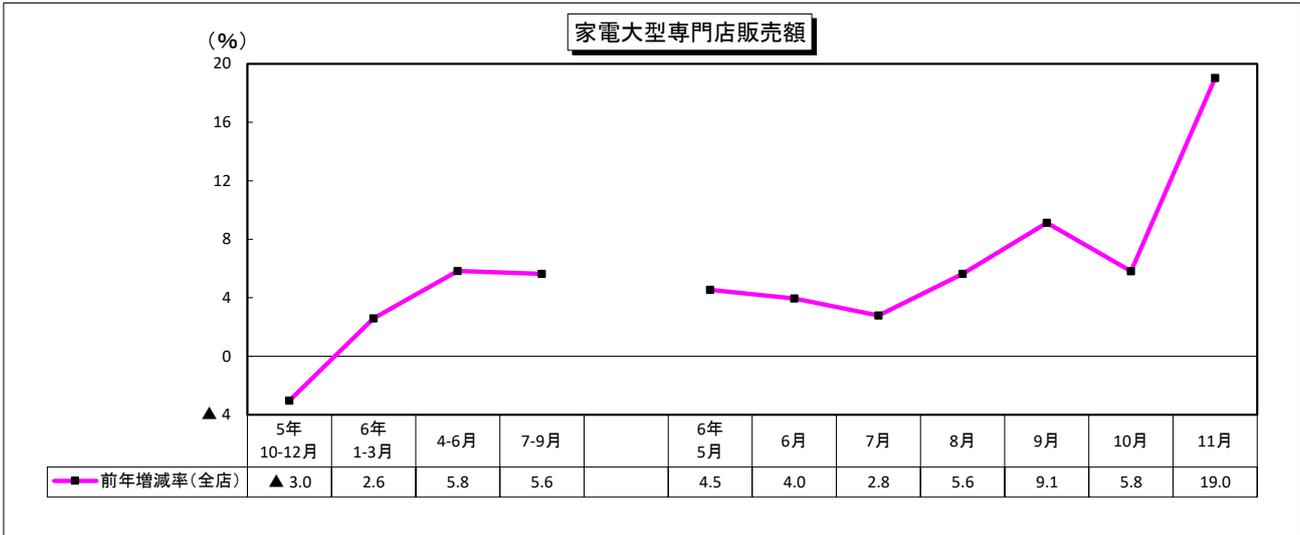
[経済産業省]

[グラフ3]



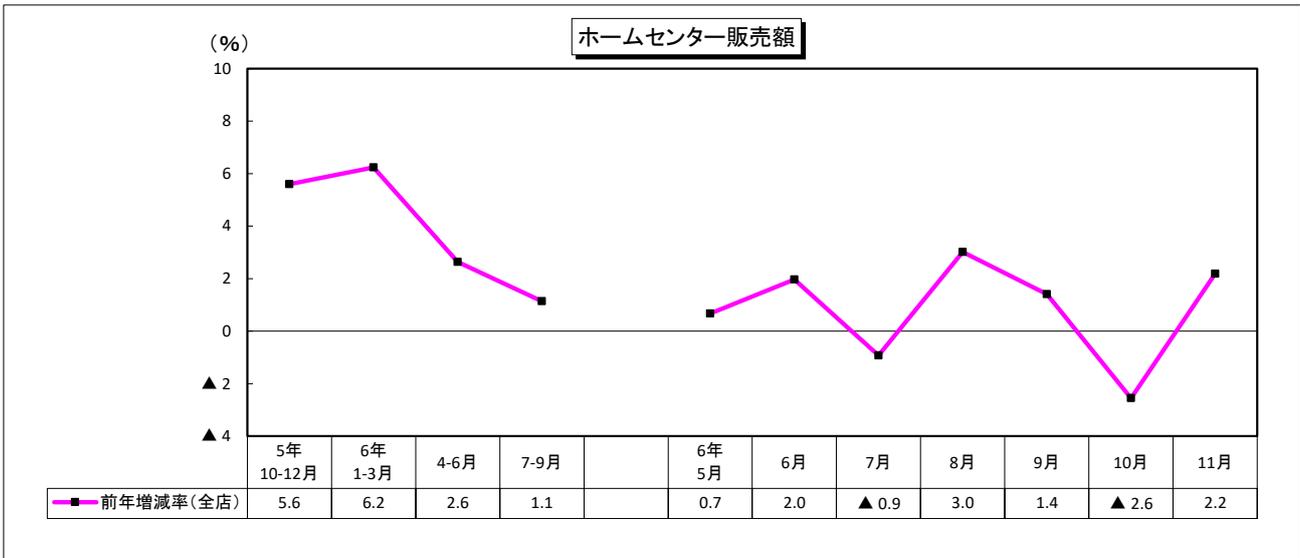
[経済産業省]

[グラフ4]



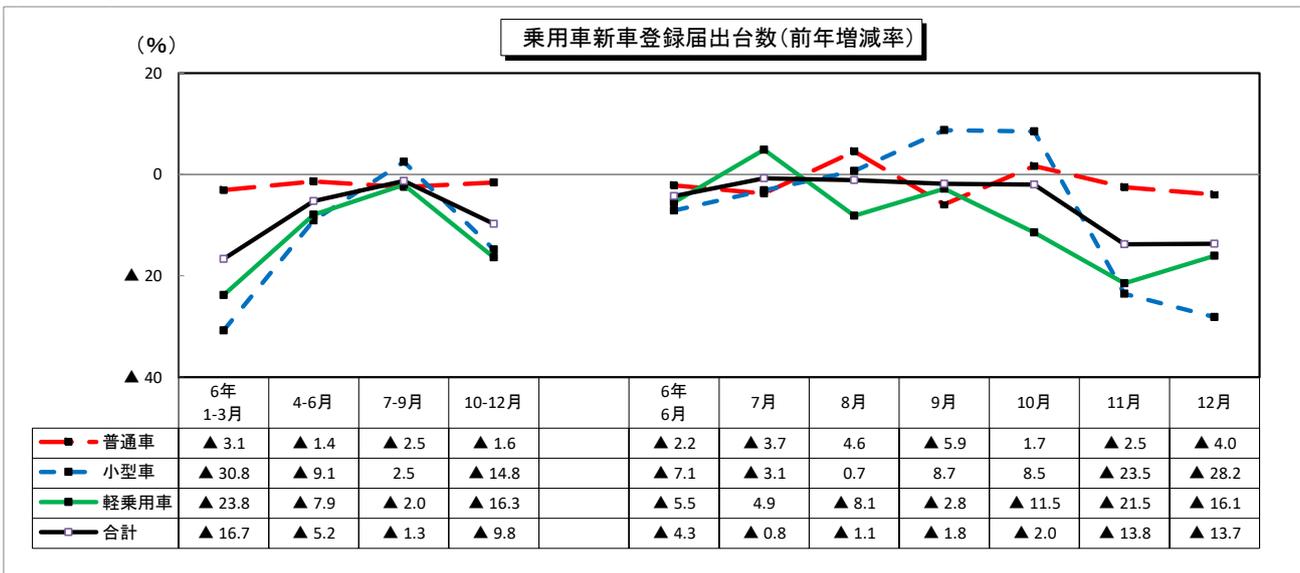
[経済産業省]

[グラフ5]



[経済産業省]

[グラフ6]

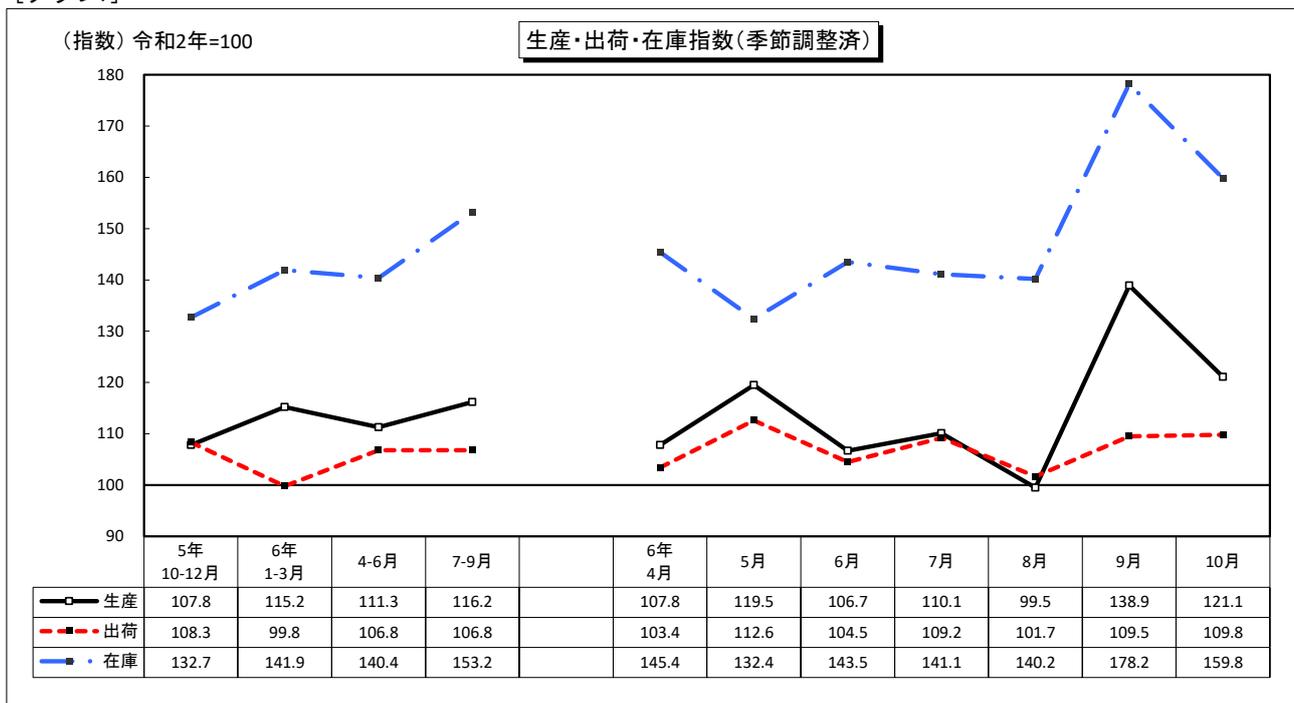


[日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会]

## 2. 生産活動

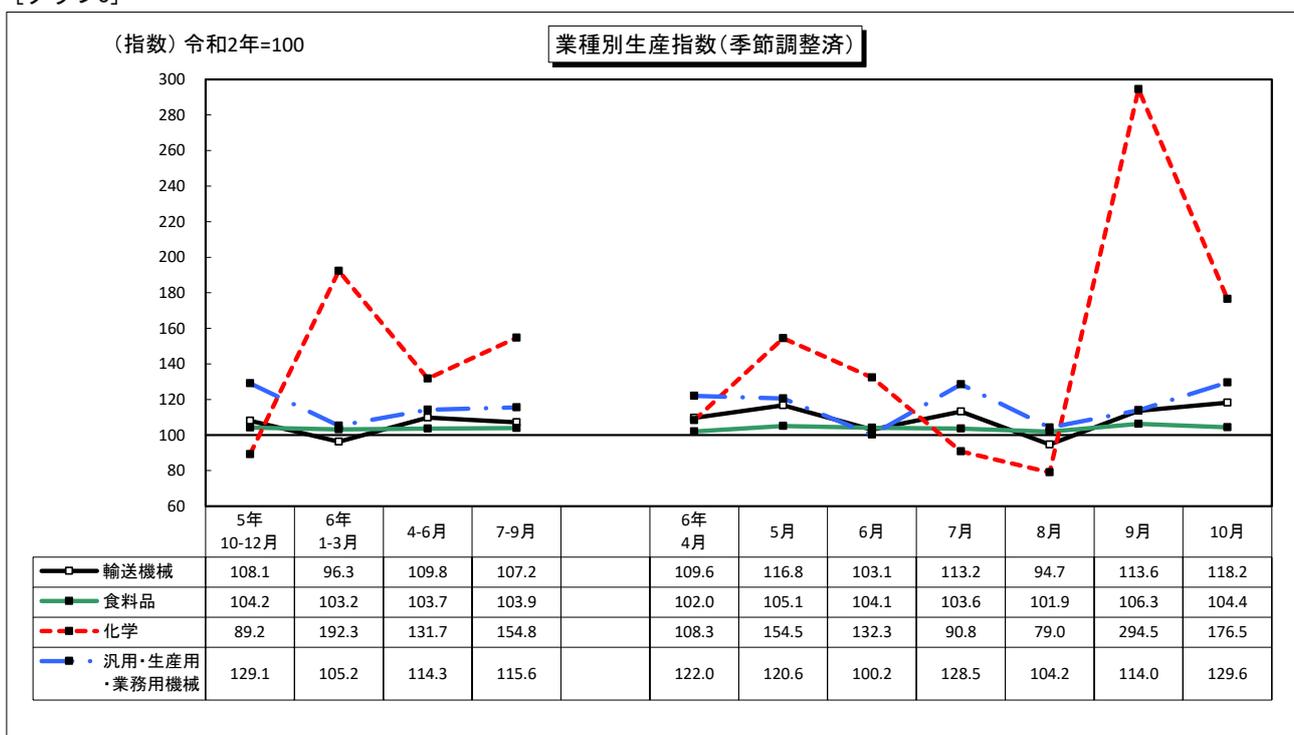
持ち直しつつある

[グラフ7]



[群馬県]

[グラフ8]

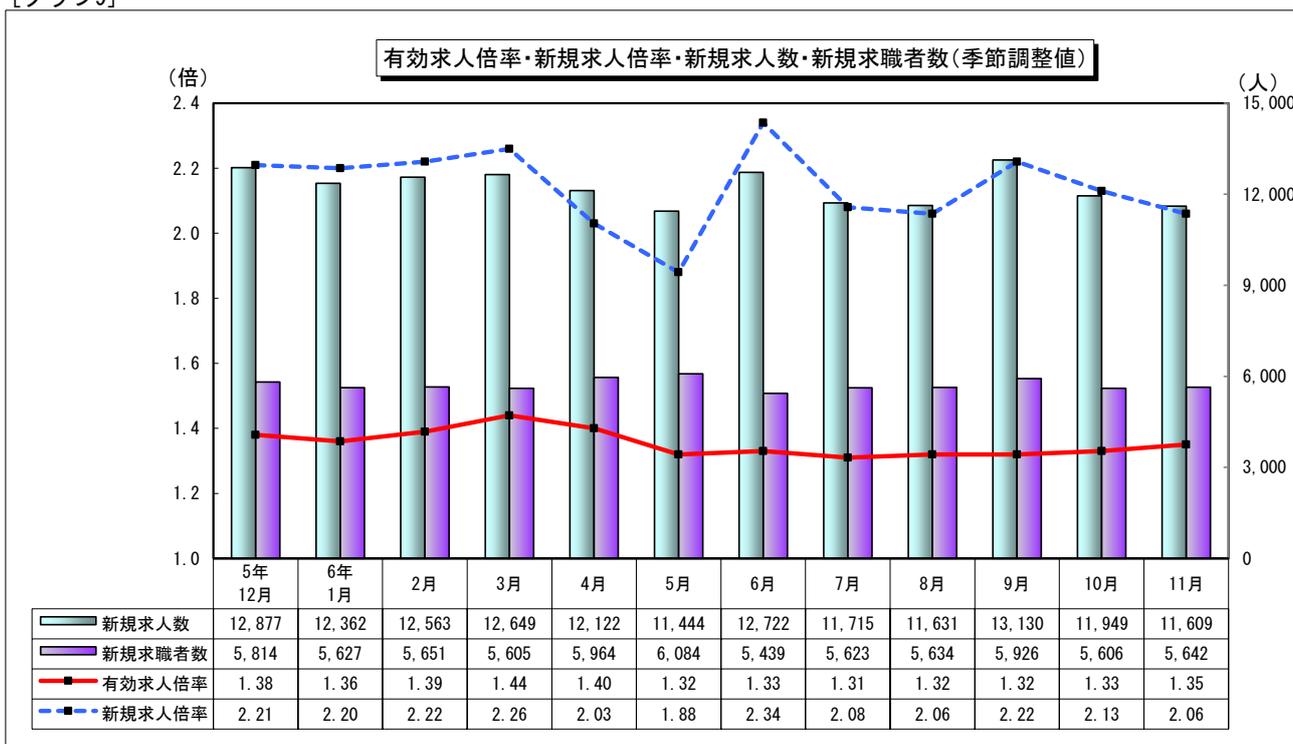


[群馬県]

### 3. 雇用情勢

足踏みの状況にある

[グラフ9]

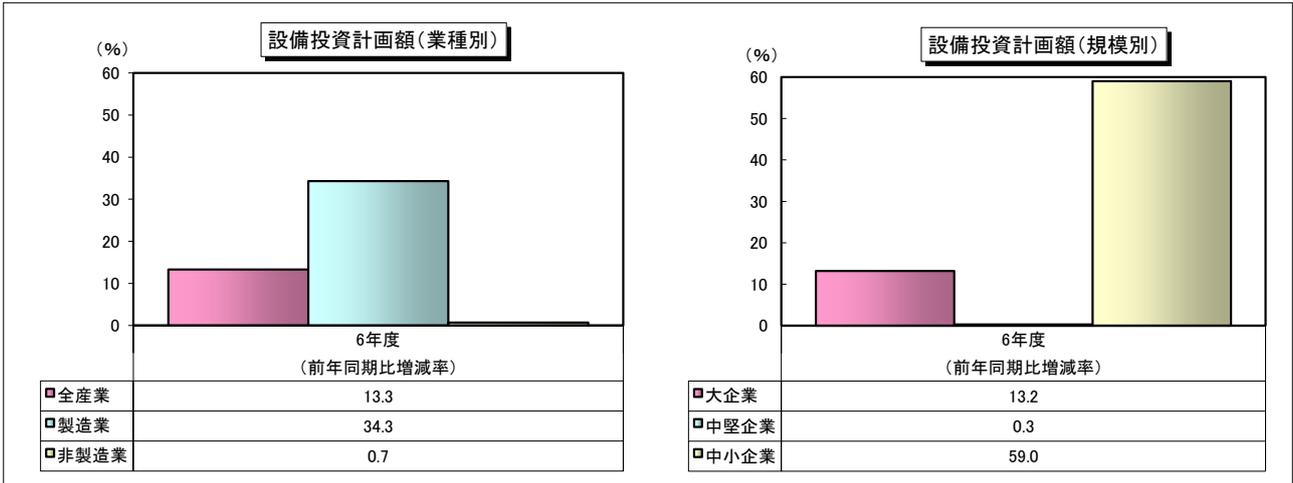


[厚生労働省]

#### 4. 設備投資

6年度は増加見込みとなっている

[グラフ10]

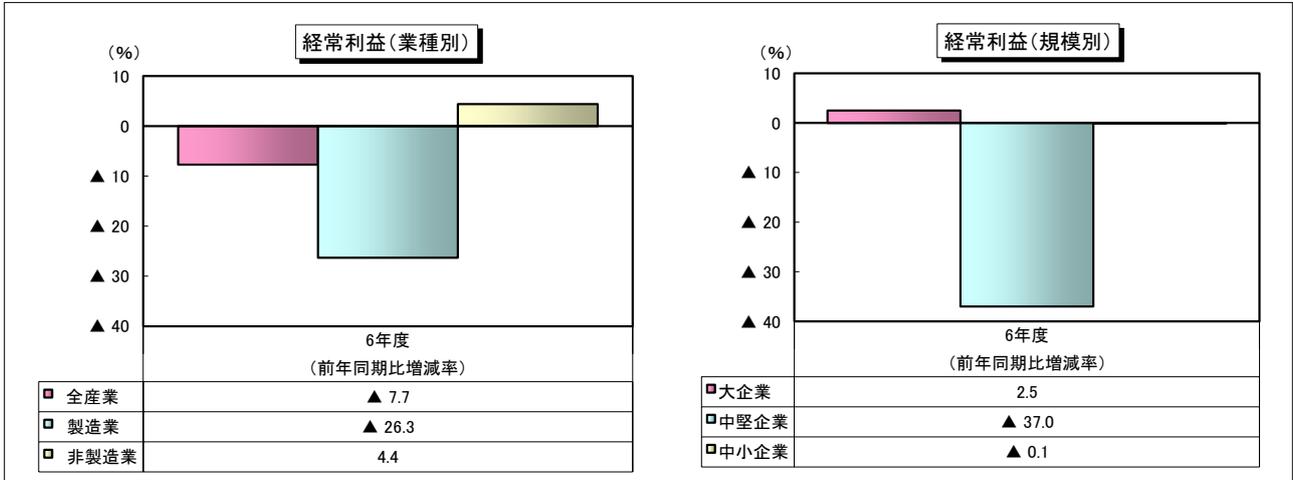


[前橋財務事務所 (法人企業景気予測調査)]

#### 5. 企業収益

6年度は減益見込みとなっている

[グラフ11]

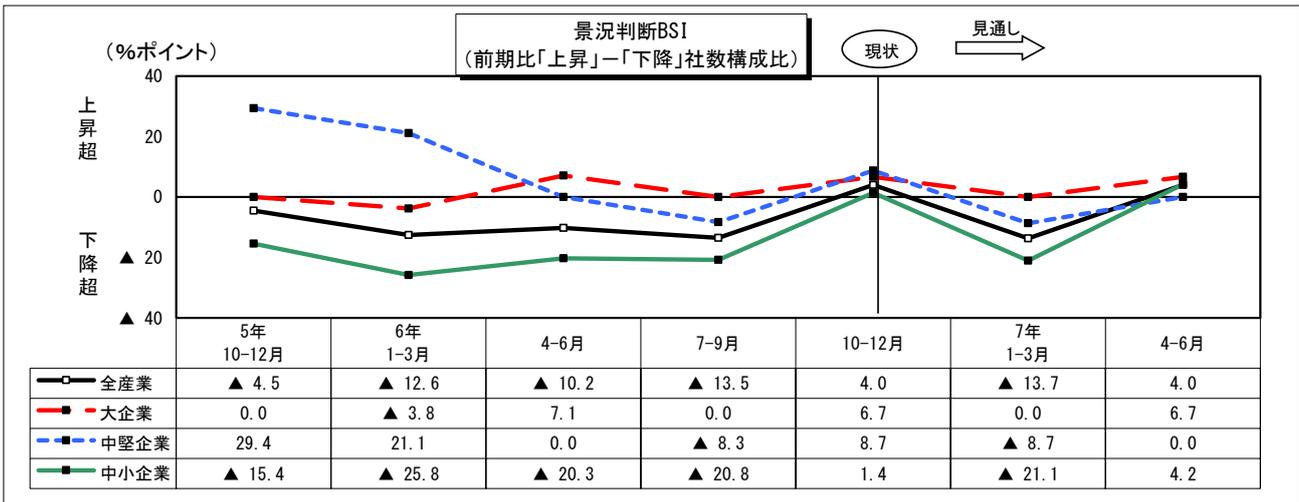


[前橋財務事務所 (法人企業景気予測調査)]

#### 6. 企業の景況感

「上昇」超に転じている

[グラフ12]

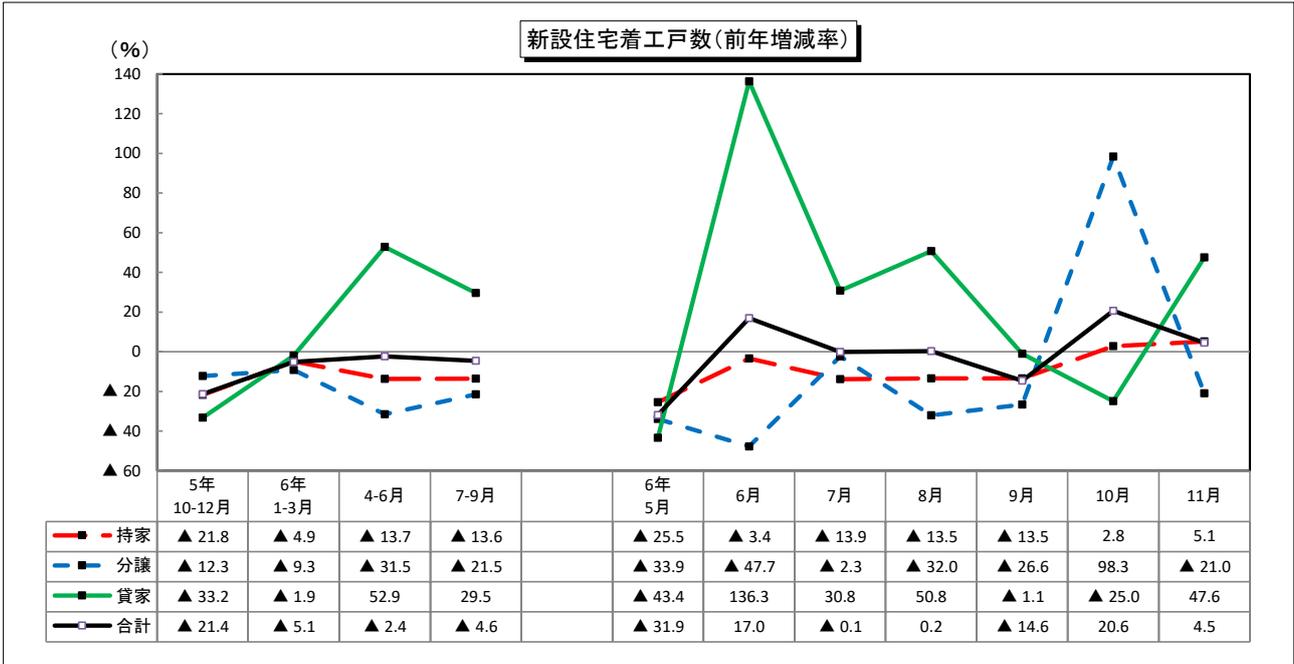


[前橋財務事務所 (法人企業景気予測調査)]

7. 住宅建設

前年を上回っている

[グラフ13]



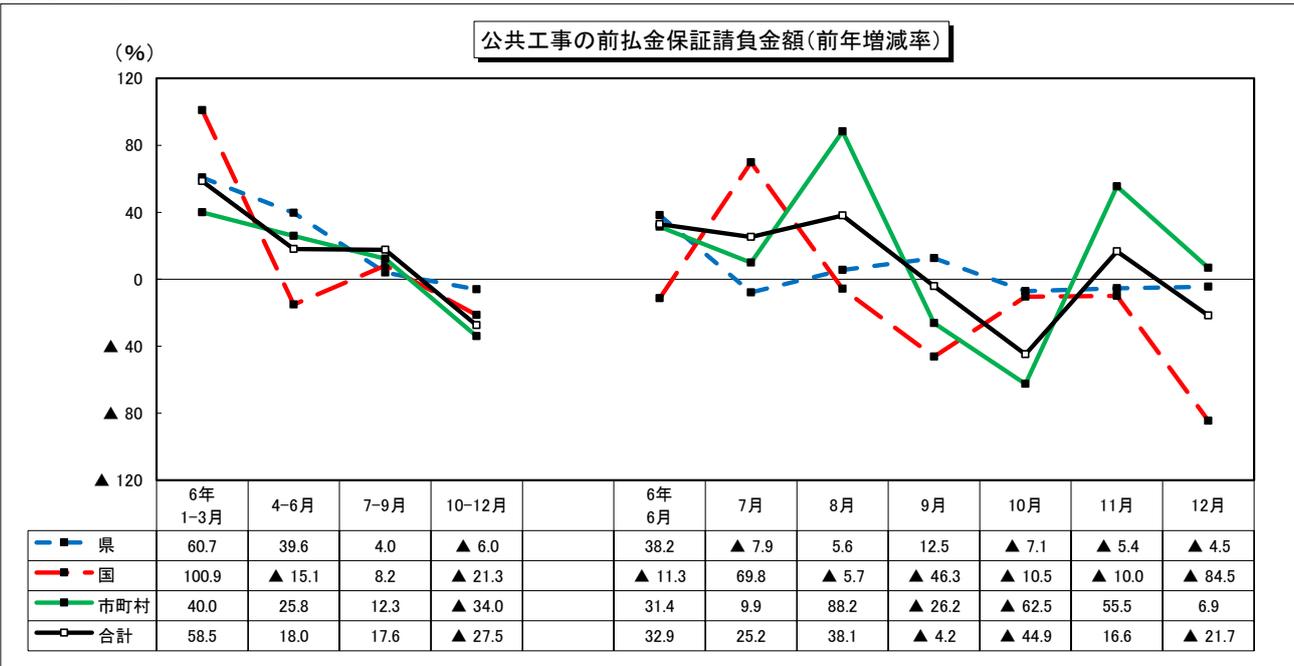
(注) 合計には給与住宅を含んでいる。

[国土交通省]

8. 公共事業

前年を下回っている

[グラフ14]



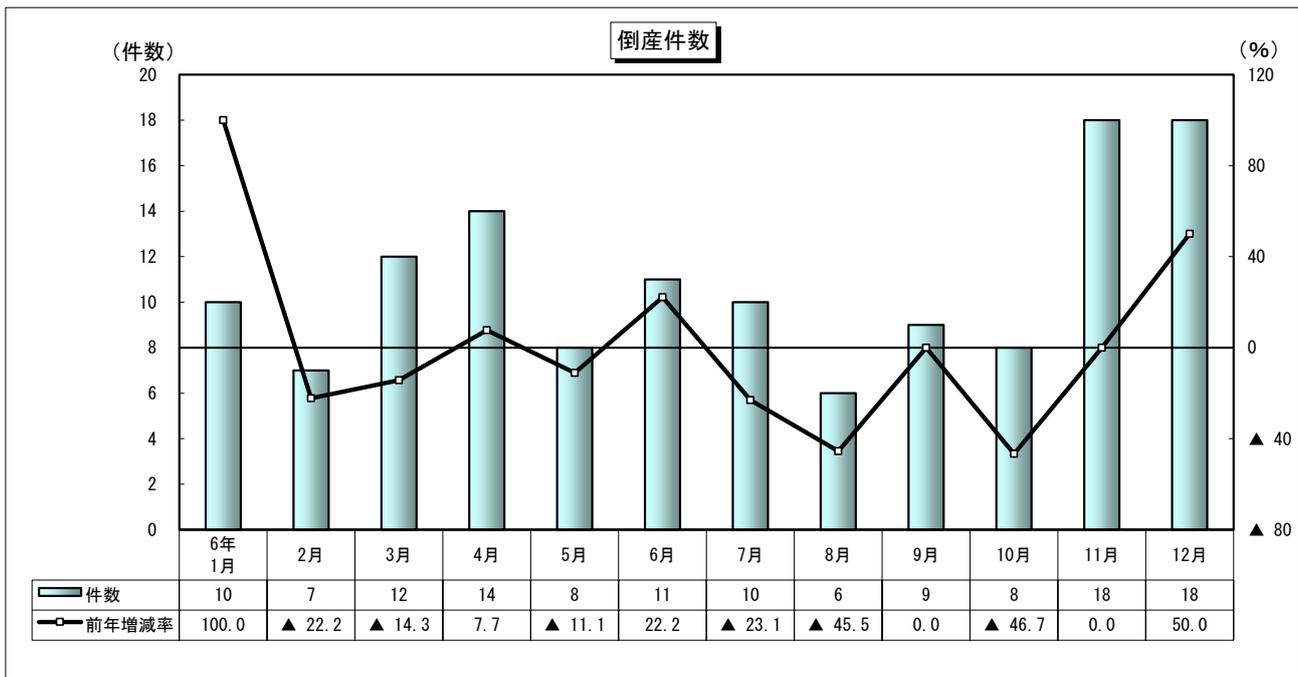
(注) 四捨五入の関係上、各発注者の総和は計に一致しない場合がある。

[東日本建設業保証株式会社ほか]

9. 企業倒産

負債額は前年を下回っている

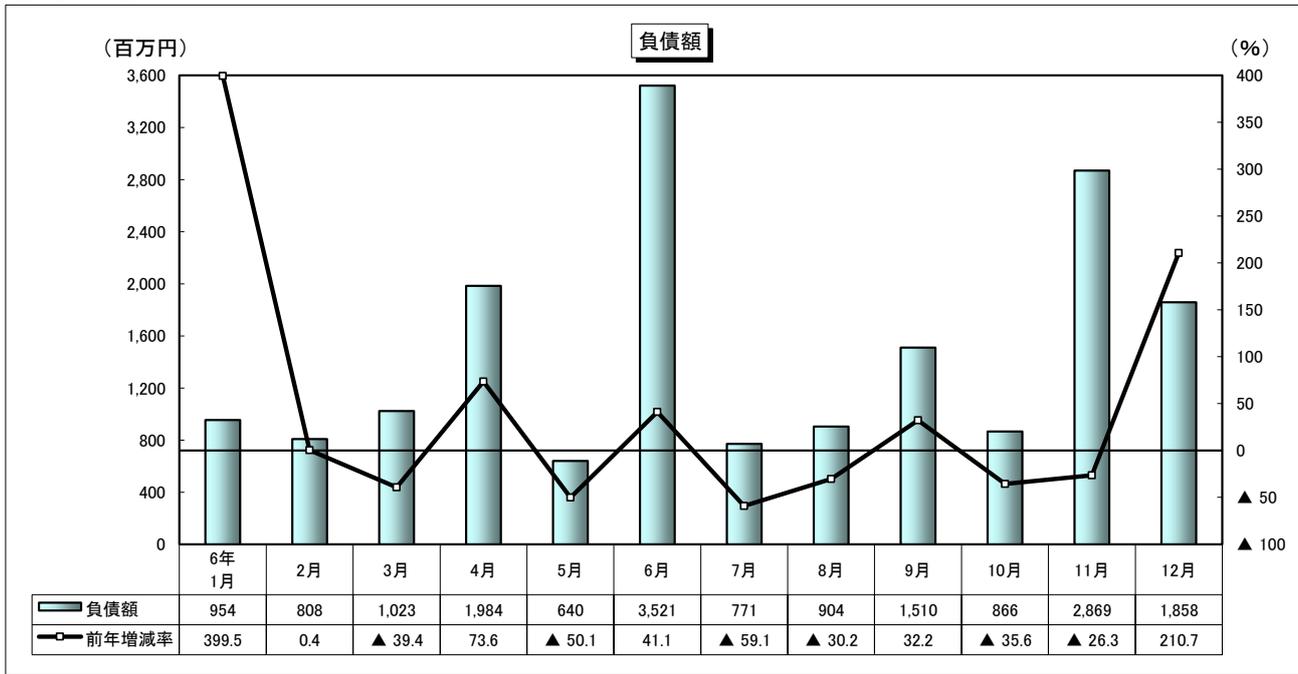
[グラフ15]



(注) 調査対象：負債総額1,000万円以上

[株]東京商工リサーチ前橋支店

[グラフ16]



(注) 調査対象：負債総額1,000万円以上

[株]東京商工リサーチ前橋支店